

『ハニートラップランド～尋問の間～』 参考用シナリオ

＊このシナリオは原本になりますので声優・その他の方への指示や SE 指示は入っていません。また、実際の音声と異なる個所もございますので予めご了承ください。

トラック 0

“オープニング”

ようこそいらっしゃいました…ハニートラップランドへようこそ
それでははじめにハニートラップランドの説明をさせていただきます。
ハニートラップランドとは簡単に申し上げますと成人男性向けアトラクション施設です。
この施設には様々な部屋があります。
お客様にはまず、好きなお部屋を選択して頂きます。
そして、私たちハニートラップランド管理人又は中にいる女の子の出すミッションをクリアして頂くのです。
どのようなミッションかはお部屋によってことなります。
よろしいですか？それでは、お部屋のご選択を。
なるほど、こちらのお部屋をご選択…ということでしょうか。
こちらは『尋問の間』です。私たち管理人が出すミッションをクリアして頂くタイプのお部屋です…
お客様は会社を守るガード…つまり警備員です。金庫の PW は『35262』…しっかりと覚えて下さい。そして決して誰にも知られないように…このパスワードを守り抜き、出口から出てくる。今回のミッションはそれだけです。それではどうぞ、いってらっしゃいませ。

“スパイ・ガール”

トラック 1

あら……お疲れ様です。ん、んー……こんな夜中に何をしているのか、ですか…？
私、社長に頼まれてまして…金庫から新規開発用の資料をとってきてほしいと言われてまして。
今から金庫に向かうところです。
…知っている秘書とも違うし……怪しい…ですか？
うーん……困りました。
私、第 3 秘書ですからあまり表に顔を出していないだけなのですが…。
あ、社員証もありますよ？ほら、確認して下さい、ガードさん。
第 3 秘書、美倉綾音…ほら、ちゃんと IC チップも入ってるでしょう？

…ね？わかって頂けましたか？

それでも怪しい…ですか…。仕方ありません。では金庫までご一緒しましょう。

ガードさんがご一緒なら…いいでしょう？

トラック 2

つきましたね。大きな金庫…人も楽々入れちゃいますね。

新規開発の資料にお金に…大切なものが沢山入ってるんですね～…

さて…パスワードと社員認証が必要なのですが…ふふふ…

下手に動かないで下さいね。

首にナイフ…刺さっちゃいますよ？ふふふ…

ふふふ…社員認証はこのカードを事前に手に入れたのですが…パスワードだけはどうしようもなかったんですよ～…社員に混ざってさりげなく聞いても皆さん口が堅くって♪

こういう機会を伺っていたんですよ～…。

私を疑って ついてきてくれて、ありがとうございます♪

さあ、パスワードを教えて下さい…?でないと私、何するか分かりませんよ？

ああ…貴方を殺したりしませんよ？だって、殺したらパスワードが聞けませんから…

じゃあ何をするのか…？

ふふ、それはですね……。

ご・う・も・ん…かな？

ふふふ…きつーい拷問ですね♪

え…？このナイフでズタズタに…？うふふ。それをお望みですか？

いいえ、そんなことしませんよ。後々私のことがバレると、私を雇っている会社が危うくなりますので…警察が動くようなマネはしません。

ああ、この金庫のお金や中にある情報はいいですよ…。特にお金の方は、**脱税**、されたものですよね？私、知ってますよ？それでも諜報員ですから♪

…スパイって言った方が分かりやすいですか??この会社の情報はほとんど把握しています♪

脱税されたお金が盗まれても…警察に泣きつけませんよね?ふふふ…それに、この機密情報…国では承認されていないデータも入っていると聞きましたし…盗まれても誰にも泣きつけない。会社の中で事件をもみ消すだけです♪ふふふ…

え?ただのガードが金庫のパスワードを知っているわけがない…？

ふふふ、だから言ったじゃありませんか。私はスパイなんですよ？誰がパスワードを知っているかくらい、ちゃーんと把握してるんです♪

貴方は、知っています♪ガードの総監、ですものね？

だから待ってたんですよ…貴方がこの会社を警備する今日という日を♪

さあて…では、かるうく力を抜かせて頂きましょうか…？

んんっ…んちゅ…ふっ…んんん……ちゅば……ちゅっ……

ふーっ…

ふふふ。どうです？私の耳舐め…極上でしょう…？これだけで、もう体に力が入らなくなってしまう…そうですね、ガードさん♪

大丈夫です。立っていられなくても…私が後ろから抱きしめて、支えてあげますから…。

ふふ。両手はこの拘束具で止めさせてもらうわね。これで貴方は私にされるがまま…

いいんですよ、我慢できなくなったらいつでもパスワードを教えてください？

そうしたら、手の拘束具を外して…解放してあげます。ふふふ……さあ、拷問の始まりです♪

トラック 3

あらあ…？ガードさん、結構耳垢溜まってます…？ふふふ…じゃあ綺麗にしてあげますね？んっ…んっ…舌に絡みついてきます…

気持ちいいですか…？いいんですよ、いつパスワードを教えてください…それとも、ひょっとしてこの状況を楽しんでいます??スパイの女性に、この真っ暗な誰もいない会社の中で…お耳をペロペロ舐められ感じてしまっているこの状況…ふふふ…♪

あらあら…？なんだか股間、膨らんでません？私の耳舐め、そんなに気持ちいいですか？

勃起させちゃうくらい…ふふふ♪

声が漏れてますよ？ガードさん♪ふふ……きもちいいですかあ…？

もう私の唾液でベトベトです…♪ふふふ…すごく…やらしい♪

あらあら、お口が堅いですね…ガードさん♪まだパスワード、教えてくださいらないのですか…？

ふふ、優秀なガードさんですね♪好きですよ、私、貴方みたいな優秀な方♪

さあ…では次は…

逆のお耳も舐めさせて頂こうかしら…

次はこちらのお耳♪……さあ、いつまで耐えられるのかしら♪ねえ、**優秀なガードさん**♪

んんん…っちゅ…こちらも、すごく沢山耳垢が溜まってますね…ふふ。だあれもお掃除してくれないんですか…？ふふ、いつもご自分で…？仕方有りませんね…私が綺麗にしてあげますよ…。ほら、ちゅ…ちゅるる…ぺろぺろ…んちゅ♪

奥の方もほら…ぺろぺろぺろ…ふふ、ガードさん?膝がガクガクしてますよ…？

ひょっとして、もう耐えられませんか…？大丈夫ですよ…？ほら、パスワードさえ教えて下されば、すぐにでもやめてあげますし…ね？

ガードさんガードさん…貴方ってもしかして M なのかしら？こうして私に苛め抜かれて…股間を固くして…でもパスワードを教えない…これって、もっとして欲しいってこと…
ですよ？(笑)

ほおら、私の唾液がガードさんの耳の奥まで…ぐちゅぐちゅ、ぐちゅぐちゅ…ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ…もうたまらない、たまらない♪んふふふ…

ちゅばっ…ふう…。ふふ、体はへろへろ…なのにまだ吐かないなんて…すごいすご〜い♪
さすが優秀なガードさんは一筋縄ではいかないわね♪ふふふ…
これはもっと過激なことが必要かしら…？
ふふ、もう手を放しても、逃げられないわね？
だって、もう体に力が入らなくて…私が支えていないと立ってもいられないもの…ね？ふ
ふふ…じゃあ、離してアゲル♪

ふふふ…やっぱりもう…立てないわよね？私の耳舐めスキル、すごいでしょ？
耳攻めなら誰にも負けない自信があるのよ♪
じゃあ…まだパスワード教えてくれないっていうなら…ガードさんのこと、もっともっと
苛めてあげようかな♪
こっちのお耳で囁きながら…エッチなところを触っちゃうわよ？
ほら、嫌なら今のうちに教えてくれるかしら？パスワード♪
なら、仕方ないわね。囁きながら……エッチなところ、沢山責めちゃうわよ♪
ほら、まずは右の乳首…ふふ。服の上からでもわかるわ。ピンって尖ってるの♪
こうやって私に耳元で囁かれながら摘まれて……クリクリされちゃうのよ？
ほーら、クリクリクリクリ、クリクリクリクリ♪
素敵でしょ??ほーら、クリクリ、クリクリ、クリクリクリクリ♪
声が漏れてるわ、ガードさん♪…ふふふ…ダメね…しっかりしなきゃ…
大切な情報は守れないじゃない？んふふ…
ほおら、服の下に手を入れちゃって…あは♪本当に固くなって…クリクリしてる♪
周りをゆっくり触られるのと〜…こうやって…
きゅっ！って摘まれるの、どっちが好み？……ふふふ？どっちも？
もちろんそれでも構わないわ？んふふ……じゃあまずは周りから……そーっとそーっと円
を描くようにして……じわじわ中心に近づけていってあげる。
焦らされてるみたいで…グッとくるでしょ？……まあ、焦らしてるんだけどね(笑)
ほーらほーら♪私の細くて白い指が、乳首の回りをくーるくる、くーるくる♪
んふふ♪じれったい〜？じれったいわよねー？くーるくる、くーるくるー…
ふふ…じゃあ左の乳首の周りも、こうしてくーるくる、くーるくる♪
あらあら、左の乳首も勃起、してきちゃった♪ツンツンって上むいて、可愛いわね♪

ふふふ…早くクリクリってしてほしい？乳首のさきっぽきゅって摘んで、クリクリクリって…してほしい…？…ふふ。いいわよ？仕方ないわね、我慢できないの??

いいわ、してあげる♪ほら、折角だし…耳も舐めながら♪

クリクリクリ♪クリクリクリ♪焦らされ乳首、クリクリクリ♪クリクリクリ♪ちゅっ…ちゅう…クリクリクリ♪クリクリクリ♪ふふふふ…！

体が反応してる♪乳首だけじゃないよ～って……んん～…ちゅ、ちゅう…

クリクリクリ♪クリクリクリ♪クリクリクリクリクリクリ♪

んふふ……お耳で囁かれながら乳首をクリクリされるの、たまらないでしょ??

うん♪大分出来上がってきたわね♪

どう？まだ言う気になれない？パスワード♪

そっか、残念♪

じゃあさらに追い打ちをかけないといけないかしら？

この程度では喋ってくれないんでしょ？なら、…仕方ないわね♪

じゃあ、今度はこの膨らんじやった…おちんちん♪このまま耳元で囁きながら…コスコスしてあげる♪ああ…イケナイわよね？こんなこと…

ガードさんがスパイのお姉さんに…ねえ？

でもほら…いけない、って思ってるのに…ここはこんなに固いわ。ほら。ね？

ふふふ……お姉さんが、脱がしてアゲル♪

ほおら……ぴょん♪

うふ、出てきた出てきた♪ガードさんの固くなったおちんちん♪

ふふ…ねえ、何を期待してるのかしら？

ねえ？スパイのお姉さんに何を期待してるの？

トラック 4

んふふ…本当に抵抗できない？力抜かれちゃって抵抗できない？ホント？

……ねえ、ホントは抵抗くらいできるでしょう？

でも、したくないのよね？くすくす…頭も、体が抵抗できないほうが都合がいいって判断しちゃって、それでこんなに無抵抗なのよ…

なんてイケナイガードさんなのかしら♪

でも、そうよね？くすくす…貴方は抵抗できないの。そう、私にナイフで脅されて、これ以上どうしようもないだけ。ただ朝が来るまで私の拷問に耐えて…他の社員が来るまでパスワードを言わなければいいの。

そうしたら、ガードさんはとってもお得よね？

気持ちよくなるだけなっちゃって…金庫も中身も無事なまま。

とっても優秀なガードさんだわ…？ね？

ふふふ…じゃあ、おちんちんこすこす、始めるわよ？

いつでもパスワード、教えてね♪そうしたら、やめてあげる♪

ほら、じゃあ……スタート♪

ほおら、こすこす、こすこす、おちんちん、こすこす、おちんちん、こすこす♪

最初はゆっくりしてあげる♪んふふ…こすこす、こすこす♪

吐息が熱いわよ…？もう感じちゃった？

ふふ、おちんちん、ガチガチだもんね？感じてるのよね？

いけないいけないガードさん♪スパイにこうして拷問を受ける気分はどう…？

こうしておちんちんこすこすされて…あ、我慢汁、出てきたわ。

ほら、先っぽが光ってる♪ふふふ…あら？もう少しで垂れちゃいそう。

見て見て？ほら……先っぽ♪とろ～り…んふふ…すっごい♪

ねえ、音が変わってきたわ。ほら、おちんちんがね、くちゅ…くちゅ…ってやあらしい音になってきたわよ……。我慢汁がほら、こうしておちんちんを私が擦るたびに絡みついてきて…エッチな音を立ててるんだわ。おちんちん、ぬらぬら光ってる…

ほらガードさん、見て…？くち…くち…くち……くち…くち…くち…♪

この音、いやらしいわよね…ふふ。私、興奮しちゃうそう♪

ねえ、想像してみて？このお汁が垂れてるところをお…私が舌でぺろっ…って舐めちゃうところ…♪

あは☆今ゾクッてしたね？体がびくんって…ふふ、正直者ねえ…♪

想像したらもっと興奮しちゃった？

うんうん♪じゃあ目を閉じて妄想してみよっか♪ほら目を閉じて…

指先で先っぽだけクニクニしてあげるから、私に口でされてるって妄想してみて…？

ほーら…

んはあ…ちゅぱ…くちゅ……んんん……ちゅぱあっ……くちゅくちゅ…ちゅぱ…くちゅくちゅくちゅん♪…ちゅぷ……ちゅぷ……ちゅぱあ♪

ちゅるるる……んふう…くちゅ……ちゅぱちゅぱ、んちゅ…くちゅう♪

はあ…んふふ♪息が荒いわ、ガードさん♪

もう、出ちゃうそうだった？

まだ出しちゃダメ♪だって、まだパスワード、教えてもらってないもの♪

まだ出させてあげないわ♪

パスワードを言わないと、拷問がまだまだ続くわ……どう？言う気になった？

……そう、まだその気にならないみたいね？

いいわ。じゃあもっと苛めてあげる♪

もう喋りたくて喋りたくて…どうしようもなくなっちゃうくらい、苛めてあげる♪
じゃあ今度は……こっちのお耳、舐めながらおちんちん、くちゅくちゅってしごいちゃおっ
かなあ～…？
ふふふ、囁くだけでもこんなに我慢汁出してイキそうになっちゃってたのに……耳を舐め
られながらなんて…耐えられるかしら？ふふ
きつと言っちゃうわあ…♪パスワード♪
ガードの貴方は言っちゃうの♪パスワード♪
いっちゃうのよ、ガードさんなのに♪
いっちゃうの…スパイの私に苛められて♪

んふふ…ほおら、じゃあお耳なめなめしながらのおちんぽ拷問、始めるわよ♪

ほおら、私が貴方を下から見上げて…おちんちんぱくって咥えて…んんんっ…
貴方のおちんちん、すごく大きいのね。私のお口、いっぱいになっちゃった♪
ふふふ……たくましいおちんちん…私コレ、好き…
すこ～しからいお汁…見て…私の口で糸引いてる…。貴方の我慢汁…おいし♪
ほおら、ちゅぱちゅぱ…くちゅくちゅ…おちんちん、くちゅくちゅ、れろれろ～…んふふ
どおお？もうイっちゃいそうでしょ？きもちよくなりたい？私のお口の中で…いっぱい精子、
どびゅどびゅしたい…？

んふふ…ざーんねん、ここまで♪
イク寸前だったよね…？ふふ。おちんちんヒクヒク、ヒクヒク…
私の囁き耳舐め攻めの妄想手コキ…ホントにフェラ、されてるみたいでよかったでしょ？
ふふ…どおお？パスワード、言う気になった…？

……ならないわよね？ 知ってる。
ふふふ…だって、このまましてほしいものね？イカせてほしいものね？ここでやめちゃっ
たら……イヤなものね？
最後までイカせてほしい。感じさせてほしい。射精させてほしい。私にもっとエッチなコト
してもらって、頭おかしくなるくらい、イカせてほしい。。
でも、パスワードを言っちゃったらそこで終わり。だから言わない。そうでしょ？

図星。

ふふふ…いいのよ。知ってる。貴方の気持ちはよくわかってる。

だからここからの拷問は…私に遊ばれることじゃない。イケないこと。
私にイカせてもらえないこと。
射精させてもらえないこと…。
ふふ？どうかしら？パスワードを大人しく言ったら、イカせてあげる。
でも、言わないのなら……このまま貴方のこと苛め抜いて…焦らして焦らして…
スンドメ。
それを朝まで続けるわ。
地獄よね？
……ふふ。その苦しそうな顔…好き♪
さあ…どうする？パスワードを言う？それとも…
くちゅ…んんっ…このまま言わずに…朝まで私にいじめられ続ける…？
好きな方を選んでね💎
パスワード、言う気になったらいつでも言って💎
それまで私…貴方を苦しめ続けてあげる♪

トラック 5

そうね…アナタはこっちの耳の方が…感度が高そう♪
さあ…貴方の体…朝までもつかしら？んふふ…楽しみ♪
ね…私ね。いいもの持ってるの♪んふふ…ちょっとまってね～…♪
じゃーん…なーんでしょう♪
正解はぁ…催淫ローション♪
んふふ…これを貴方の性感帯にぬりぬりしてあげますね♪
お耳と、乳首と……おちんちんに♪
ふふ…ほおら、お耳にくちゅくちゅ…
乳首にもぬーりぬり、ぬーりぬり… ん…服が邪魔ね。脱がしてアゲル。
ほおら…ボタンを外して…
んふふ…空気に触れるとより敏感になるでしょ？
はしたない恰好ね。ガードさん…誰かが来たらどうしようね？
見られちゃうわね…この服がはだけておちんちんが出ちゃったこの恰好…
最初に来るのは同僚の男性かな？それとも、女性…？
どっちに見つかりたい…？ふふふ…
次はおまかせね、おちんちん♪ほおら、ぬりぬり…ぬりぬりぬり…♪
んふ♪おちんちん、あったかい♪血液が集まってきてる♪それに…がっちがち…
もう出したくて出したくてたまらないのね。こんなに上向いて反り返っちゃって…

入れるところなんてないのに…んふふ♪イジワルなお姉さんでごめんね🍷

さーて、どおかなあ…？ふふ……

催淫ローション……ほら、うめき声がもれた…耳も敏感になったかな？

ふふ…ふ—————

うん♪敏感になってる♪

おちんちんなんてなんにもしてないのに脈打って…もうダメって感じ？

ほおら、じゃあこの敏感になったお耳で囁きながら、催淫ローションでぬるぬるのおちんち

ん、くちゅくちゅしごいてあげる♪

ね？じゃあいくわよ？ほら…

くちゅくちゅくちゅくちゅ…くちゅくちゅくちゅくちゅ…

しこしこしこしこ しこしこしこしこ…しこしこ…しこしこ…

くちゅくちゅ…しこしこ…しこしこしこしこ…

おちんちんあつつい…ふふ…しこしこくちゅくちゅ しこしこくちゅくちゅ…

くちくちくちくちくち…

ふ—————

おちんちん撥ねた♪ふふ…精液出したいわよね…びゅーびゅーしたいわよね…？

だって、催淫剤がおちんちに沁みこんで…乳首のローションが空気に触れて乳首立っちゃって…ぐちょぐちょのお耳で囁かれて…もう意味分らないくらい気持ちいいものね？

声が漏れてる♪

ほーら

くちゅくちゅくちゅくちゅ…しこしこしこしこ

しこしこしこしこ…くちゅくちゅくちゅくちゅ…

しこしこ…しこしこ…

くちゅくちゅ…しこしこ…しこしこしこしこ…

しこしこくちゅくちゅ しこしこくちゅくちゅ…

くちくちくちくちくち…

んふふ…どーお？たまらないでしょ？まだ言わないの？パスワード…

我慢は貴方ためによくないと思うけど…?クス♪

じゃあ次は…3点攻め、なんてどうかしら？

お耳と、乳首と、おちんちん🍷

左耳でこうやって囁きながら…左乳首をこうやっけてくりくりってして……

右手でおちんちんシコシコ…

ふふ…このもう爆発寸前の状態で3点攻め…さあ、貴方の精神は耐えられるかしら？

んふ♪イキたければ…もう、わかるでしょ？

じゃあ、始めるわよ…

ふふ、さあ…催淫剤の効力もどんどん増してきてるし…限界に近いはずよ？体がびくんびくん撥ねて…おちんちんも撥ねて…乳首はかたあ〜く勃起して…もう言い訳できない…

おちんちんしこしこ…しこしこ…乳首くりくり、くりくり…ふふ。おちんちんも乳首もぼうビンビン…どっちで射精してくれるのかしら？うふふ…

乳首摘んであげる…ほら、きゅっ●んふ♪声が出てるわあ…

ほおら、おちんちんくちゅくちゅくちゅくちゅ…こうして亀頭をこねこねされるの好きでしょう？カリの部分も…こうやってこすこす刺激してあげる♪くちゅくちゅ、くちゅくちゅ、こすこすこすこす♪

お耳、ふー————っ♪…んふ♪もう我慢できなさそうね？目が上むいちゃってる♪

その顔素敵♪

会社の廊下でこんなことしてていいの？ほら、誰かきちゃったかも…足音が聞こえた気がする…。車の音もしたわ……ああ…誰に見られてしまうのかしら…会社でスパイにこんなエッチなことされて…もう…ダメ…背徳感と快感でおかしくなりそう…出したい、出した
い出したい…射精したい…

あん♪イキそ…？もうイク？イキたいよね？このクスリ、ききすぎるよね？

体あついよね？会社の廊下で、女スパイに弄ばれて、ローション手コキが気持ちよすぎて出しちゃいたいよね？会社の廊下に、精液発射したいよね？

誰か来たらどうしようって思いながら、背徳感でいっぱいになりながら、それを感じてイキ
たいのよね？いいわ。イク？もう出す？イっちゃう？いいよ、いいよ、出して出して

あ、あ、あ、イクイクイク…！**イカ**ないで。

イカせないわよ。んふふ…。

ほら、約束したでしょ？パスワード言わなきゃイカせないって……。

今、発狂しそうでしょ？声が声になってないわよ？

もう頭おかしくなっちゃうくらい気持ちよくなってたのに…イケなかったね。

イカせてもらえなかったね？…ふふ。泣きそうな顔…。うんうん、つらいよね？

じゃあ…どうしたらいいのかわかるよね？

……うん♪じゃあ、パスワード、教えてくれるわよね？

…35262…OK。いいわ。ありがとう♪

認証完了…と。ふふ。じゃあちょっと失礼しまーす

…んーと

……これとこれ…あとこれね。

後の処理はよろしく。

ふふ…おかげで必要なものは手に入ったわ。ありがとう、ガードさん♪

じゃあね♡

【END1】

【この先は END2 へ】

お待たせ、ガードさん♪お蔭で私のミッションは完了したわ♪

さあて…本当ならこのまま帰るところだけど…ふふ…このままじゃ辛いわよね?

パスワード、教えてくれたお礼に少しでも…楽しませてあげる♪

じゃあ、その催淫ローションでぬるぬるのおちんちん、しごいて精液、絞り出してアゲル♪
ホントはお口かココに入れたいんでしょうけど…そこまでさせてあげる義理はないわね。

じゃあ、特別大サービスでお耳だけ舐めてあげる♪

ふふ…ほおら…

んんん…くちゅくちゅ…あらあら、もうすぐにでもいっちゃいそう…はちきれそうなくらいばんぱんね。ふふ…しこしこしこ、しこしこくちゅくちゅ…

きもちいいでしょ…スンドメ、苦しかったものね？

ほおら、ご褒美よ…？お耳の中に舌入れてあげる。んふふ…じゅぷ…じゅるる…

くちゆくちゆくちゆくちゅ、やらしい音…ね、そろそろ誰か来ちゃうんじゃないの？いいの？こんなことしてて…

もうイキそ？いいわよ。今度はスンドメじゃなく、イカせてあげる…射精していいのよ…私の手の中でいっぱい出して？貴方の精液、ドロドロの白濁、ぴゅううう～って出して？

ほらあ！ぴゅっぴゅ～…！！ぴゅるるるるるるるる～～～～～!!!

ふふふ…たくさん出たわね。素敵よ、ガードさん。

これからも頑張って会社を守ってね♪

手の拘束具は……頑張って自分で解いて♡クスッ……

会社の人に見つかる前に頑張ってね♥

じゃあまたね、バイイ💕

【END2】

回収

言ってしまったようですね…パスワード…

パスワードを誰にも知られない様にでてる…ただそれだけのミッションを、貴方は出来なかったのですね。

恥ずかしく、ありませんか？

そんな簡単なミッション一つ満足にクリアできないなんて…

女性1人にいいようにされて、言うてはいけない情報を漏らして。

その情けない残念な姿、なんなら写真に収めて差し上げましょうか？

すごく、情けないですね。

耳を舐められてドロドロにされて、乳首くりくりされてちんぼしこしこしごかれて、スンドメされて、たえられなくて、PWを言うてしまっ、

END2のみ（ご褒美なんて言われて射精させられてそのまま放置されて…。）

END1のみ（結局我慢に我慢を重ねて、射精をさせてもらうことも叶わず放置されて…。）

ほら、とれた写真を見せてあげます。

情けない貴方の姿。管理人室に飾っておいてあげます。

さて、Missionをクリアできなかったお客様には、残念ながら管理人から拷問を受けて頂くことになっています。

本来拷問は耳舐めですが…

でももう充分耳は犯されてますよね。今更私とその女スパイの唾液で濡れた貴方の耳を舐めるのも不快です。

貴方には今回、この

足で拷問させていただきます。

丁度手も拘束されていますし…いい格好です。

そのまま地面に無様に転がっててください。私がこのヒールでその節操のないちんぼを踏み抜いてさしあげましょう。

今の貴方にはそれがお似合いです。

大丈夫ですよ、貴方は大切なお客様ですから、貴方のちんぼが再起不能になるようなことは致しません。

少し屈辱かもれませんが…まあ、拷問ですので悪しからず。

靴？脱ぎませんよ？

どうしてあなたのその薄汚いちんぼを踏むのに私が靴を脱がなくてはならないのです？

靴のまま踏ませて頂きます。

ほら…

キタナイ音ですね、ぐちゅうって。ああ、スパイが催淫ローションを塗ったのでしたっけ？
それでこんなぬるぬるしてるんですね。

催淫ローションは如何です？きいてますか？

こうして私に靴で踏まれても、感じてしまいます？

もしかしてヒールの部分で踏んでも感じてしまうのですかね？

やってみましょうか…ほら、ぐりぐり…ぐりぐり…

ヒールで踏むとさすがに少し痛いですが？

でも、催淫ローションのせいか、焦らされ過ぎたせいか、その痛みも快感なんですね。

無様というか滑稽というか…

靴の先っぽで亀頭を踏んであげますね。貴方のお腹と私の足で亀頭を潰すようにぐにぐに
って…ちんぽ全体は固くても、亀頭は柔らかいんでしょ？

ほら…

なんです？その悲鳴。痛くて出す声じゃないですね。まるで快感に悶える声みたい。

感じてるんですか？靴で踏まれて…

拘束されて転がって、股を開いて勃起ちんぽ靴で踏まれて、気持ちいいとか感じちゃってる
んですか？

変態ですね。貴方はド変態です。

はっきり言ってドンビキするくらい、変態です。

よく今までその変態気質を誰にも咎められず生きてこられましたね？

それとも、自分でもきづきませんでした？自分が足で踏まれて感じてしまうド変態だと。

残念な人。ほら、ちんぽ全体を靴でグリグリしてあげます。

なさない勃起ちんぽ。おなかに押し当てて、足全体でぐにぐに踏みつけてあげます…

ああ…こうして靴でぐにぐに踏むたびに痛みと快感でちんぽを膨らませて悲鳴をあげる…

ほら、情けない姿、また写真にとってあげますよ。踏まれて、感じてる変態写真。

管理人室に飾って、皆で笑ってあげますね。

どうしたんです？こんなに屈辱的なことを言われて、ちんぽを踏まれているにも関わらず、
感じたような声を出して。なんです？もう射精しますか？

女スパイに弄ばれて捨てられた残念ちんぽ、管理人の私に踏まれながら、見下されながら、
蔑まれながら、醜く射精してしまうのですか？

いきます？踏まれながら？痛みを感じながら？気持ちよくなるんです？

ほら、最後はヒールでも踏んであげます。

痛みと快感で麻痺したその無様なちんぽの結末、写真に収めてあげますよ。

ほら、どうぞ、踏まれて、悲鳴をあげて、果てるといいです。

さあ…！

びゅるるるる…っと…白い液をまき散らしましたね。

情けない姿。

さ、やることはやったので、いきましょうか。

Mission をクリアできなかった貴方には行ってもらう場所があるのです。

そう、管理人室…

さあ…いきましょう

END